

# 地域環境戦略としての充足型社会システムへの転換

竹内 恒夫 著

本体 2500 円 + 税 224 ページ  
ISBN978-4-87950-622-1 C0030

## この国の「半官製」、「商業主義」の「エコ」は既に飽和状態に達している

一大ブームとなった半官製・商業主義のエコ、参加・協働による取り組み、グリーン成長などは既に終息した。そして、市民や企業の「環境疲れ」だけが残った。

本書では、10 年前に「環境村」を脱出した筆者が、こうした状況を数量的に検証するとともに、各種の社会実験、脱原発・脱温暖化シナリオづくり、欧州各地のエネルギー自治事業の調査などを経て、地域環境戦略として、「充足型」社会システムへの転換、特に、エネルギーを「地産地消」する地域における小売事業の方法を提示する。

- 第1章 失敗だった「参加・協働」、「グリーン成長」戦略 そして「原子力依存型」温暖化対策
- 第1節 「環境の取り組み」は閉塞状態に
  - 第2節 この国の「グリーン成長」戦略は大失速
  - 第3節 原子力依存型の温暖化対策はCO<sub>2</sub>を増大させる
- 第2章 「充足」型社会システムづくり
- 第1節 既存の先進工業国は「充足戦略」で定常経済にソフトランディング
  - 第2節 「充足」型社会システムづくりのための人材育成
  - 第3節 「充足」型の社会システム：10の事例

- 第3章 「充足」型のエネルギー自治—エネルギー地産「地消」でCO<sub>2</sub>大幅削減、レジリエンス、地域創生—
- 第1節 「エネルギー自治」の先進自治体
  - 第2節 「充足」型のエネルギー自治 —エネルギー地産「地消」—

竹内恒夫 (たけうち・つねお)  
名古屋大学大学院環境学研究科教授。1954年愛知県生まれ。名古屋大学経済学部卒業。1977年～2006年環境庁・環境省。「エコ」関連施策、地球温暖化政策、廃棄物リサイクル政策などを担当。2006年から現職。



2016年4月発行

貴店（帖合）印	
ご担当	
2500	
ISBN978-4-87950-622-1 C0030 ¥2500E	注文数
	書名
地域環境戦略としての充足型社会システムへの転換	発行所
	著者
竹内恒夫	
定価：本体 2500 円 + 税	